

医業承継調査2020 結果概要速報 -124人の開業医会員が将来の廃業を検討-

少子高齢化の影響により開業医の事業承継にも変化が起きている。開業医の医業承継といえば、親子間承継などの親族内承継が中心だったが、昨今、後継者不在などを理由に止むを得ず廃業する医療機関が出てきている。

当会会員の平均年齢は、2012年から2019年の8年間の間に、医科では60歳→62歳に、歯科では54歳→57歳と、平均年齢が上昇傾向にある。この先も会員の高齢化は進展していくと考えられ、近い将来、開業医にとって事業承継が大きな問題になることが予測される。

今回、協会では50歳以上の開業医会員に承継に関する実態調査を行った。その概要を紹介する。

【調査方法】

実施期間：2020年2月1日（土）～2月29日（土）

実施方法：当会に所属する50歳以上の開業医会員（医師・歯科医師）に郵送で調査票送付。調査票はファックスによる返信で回答を得た。

（※調査票送付数は1,555件）

回答数：送付数1,555件に対し567件の回答があった（回答率37%）

【調査結果】

設問1：回答者の年齢区分

(1) 50～59歳 (2) 60～69歳 (3) 70歳以上

年齢区分

(1) 50～59歳	(2) 60～69歳	(3) 70歳以上
32%	47%	21%

設問2：現在の施設は先生で何代目か？

(1) 自身が創業者 (2) 2代目 (3) 3代目 (4) 4代目以上

現在の施設は何代目か？

(1) 自身が創業	(2) 2代目	(3) 3代目	(4) 4代目以上
76%	17%	6%	1%

設問3：事業承継の意向について

(1) 事業承継を予定している (2) 事業承継を検討している
(3) まだ決めていない (4) 廃業を検討している

事業承継意向について

(1) 承継予定	(2) 承継検討	(3) 未決定	(4) 廃業検討
26%	24%	28%	22%

※「(4) 廃業を検討している会員」の実数は124人

内訳：医科（無床診療所）38件、医科（有床診療所）1件、歯科85件

	県北地区	県央地区	鹿行地区	県南地区	県西地区
医科 （無床診療所）	5	7	3	18	5
医科 （有床診療所）	0	0	0	1	0
歯科診療所	9	19	8	31	18

設問4：事業承継時期〔※設問3で(1)承継予定、(2)承継検討と回答した場合のみ回答〕

(1) 今すぐ (2) 5年以内 (3) 10年以内 (4) 11年以降

事業承継時期

(1) 今すぐ	(2) 5年以内	(3) 10年以内	(4) 11年以降
9%	32%	37%	22%

設問5：後継者候補〔※設問3で(1)承継予定、(2)承継検討と回答した場合のみ回答〕

(1) 後継者を決めている (2) 後継者を決めかねている
(3) 適当な後継者がいない

後継者候補

(1) 決めている	(2) 決めかねている	(3) 後継者いない
64%	24%	12%

※「(1) 後継者候補を決めている」の実数は177件となっている

内訳：子どもなどの親族：166件、親族以外の役員・従業員：4件、親族以外の第三者：7件

設問6：廃業を検討している理由〔※設問3で(4)廃業を検討していると回答した場合のみ回答〕

(1) 後継者が見つからない (2) 後継者候補に継ぐ意思がない
(3) 事業に将来性がない (4) 地域に需要・発展性がない
(5) 従業員確保が困難

廃業を検討している理由

(1) 後継者不在	(2) 候補者に継ぐ意思が無い	(3) 事業に将来性が無い	(4) 地域需要や発展性が無い	(5) 従業員確保が困難
63%	15%	13%	7%	2%

※「(1) 後継者が見つからない」の実数は78件となっている。また、「(2) 後継者候補に継ぐ意思がない」の実数は19件であり、本調査で実質的に後継者不在の医療機関は97件となる。